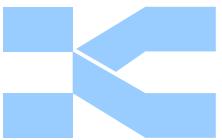


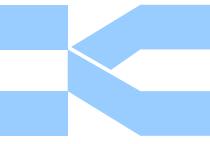
会社案内





目次

会社概要	2P
・会社概要	3P
・経営理念	4P
・倉元製作所 技術開発の歴史	5P
・事業拠点	6P
・組織	7P
・事業領域	8P
事業紹介	9P
・ロボット事業	9P
・ペロブスカイト太陽電池事業紹介	12P
・AI 主導型表面検査（AI高速カメラ）事業	18P
・DXツール LARK事業	23P
・半導体加工事業 石英加工	25P
・半導体加工事業 SiC加工	33P
・基盤事業	36P



会社概要

社名	株式会社倉元製作所
証券コード	5216 (東京証券取引所スタンダード市場)
代表者	代表取締役社長 渡邊 敏行
本店所在地	〒989-5508 宮城県栗原市若柳武館字花水前1-1
電話・FAX	電話 : 0228-32-5111 FAX:0228-32-6451
ホームページ	https://www.kuramoto.co.jp
設立	1980年8月29日 (創業1975年10月13日)
資本金	8,000万円
決算期	12月
社員数	84名 (2023年12月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基板（研削・研磨）事業：フラットパネル（FPD）用ガラス基板の開発、製造ならびに販売 ■ 半導体加工事業（SiCウェハ、石英・SiC パーツの研削・研磨加工） ■ 次世代半導体パッケージ向けのTGV(Through Glass Via : ガラス貫通電極)・TSV (Through silicon via : シリコン貫通電極)関連製品の製造・販売 ■ DXツールの販売事業 ■ ペロブスカイト太陽電池事業 ■ 不動産賃貸事業 ■ AIロボット事業（グループ）

倉元製作所 5216



東証スタンダード上場



ISO9001 認証登録証明書

ビジネスを通じて



時代の半歩先を歩み続ける

ビジョン・目指すところ



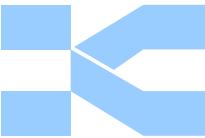
世界の最先端技術を取り入れ
日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モ
ノ・カネ・情報の良い循環を作り、未来に向
けて進化する

組織力



全社員が一致団結し、誇りと情熱を持って取
り組むことの出来るモノづくりのプロ集団

株式会社倉元製作所はこれらの理念の下、明るい未来づくりに貢献致します。



倉元製作所 技術開発の歴史

切断・研磨技術

- 液晶用ディスプレイガラス研磨の分野では自社製研磨加工機による世界最高レベルの高平坦度を実現
- 液晶ディスプレイガラス基板の切断では、自社開発の自動切断機により、高加工品質(高寸法精度と直角度)と高生産性を実現

国際品質規格
ISO9002認証取得

日本証券業協会（現東京証券取引所スタンダード市場）に株式を上場

TFT液晶ガラス
加工事業を開始

STN液晶用ガラス
加工事業を開始

1975 創業

新規事業

- 既存の切断・研磨・成膜技術にプラスαの技術を加え、新たに半導体分野に進出

超薄型LCDパネルの
研磨加工事業開始

1999

ブラックマトリクス用低反射
メタル膜加工事業を開始

1995

透明導電膜（ITO膜）
成膜事業を開始

1994

SiO₂アンダーコート
加工事業を開始

1987

1985

TGV事業を開始

半導体装置用石英
部品事業を開始

SiC パーツの研削・
研磨加工を開始

Siウェーハ
再生事業開始

2012

有機薄膜太陽電池
研究開発開始

2010

タッチパネル用成
膜事業開始

2001

カラーフィルタ上ITO
成膜加工事業を開始

2024

新規事業、M & A

DXツール“LARK”
販売代理事業開始

ペロブスカイト太陽電池
事業に参入

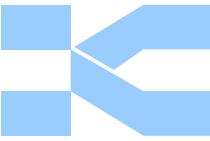
AI 主導型表面検査
(AI高速カメラ) 事業参入

株式交換により完全子会社化、
AIロボット事業に参入

吸収分割により
石英火加工事業承継

成膜技術

- 当社のITO膜は量産ベースで比抵抗値 $1.2 \times 10^{-4} \Omega \cdot \text{cm}$ を達成し、量産品では業界最高水準。
- 有機ELのITO膜上の積層において、これまでの液晶事業で培った低抵抗ITO成膜技術と高精度研磨技術の融合により、陽極のITO膜の電気・光学特性に殆ど影響を与えることなく平滑化ならびに欠陥除去加工を実現。



事業拠点



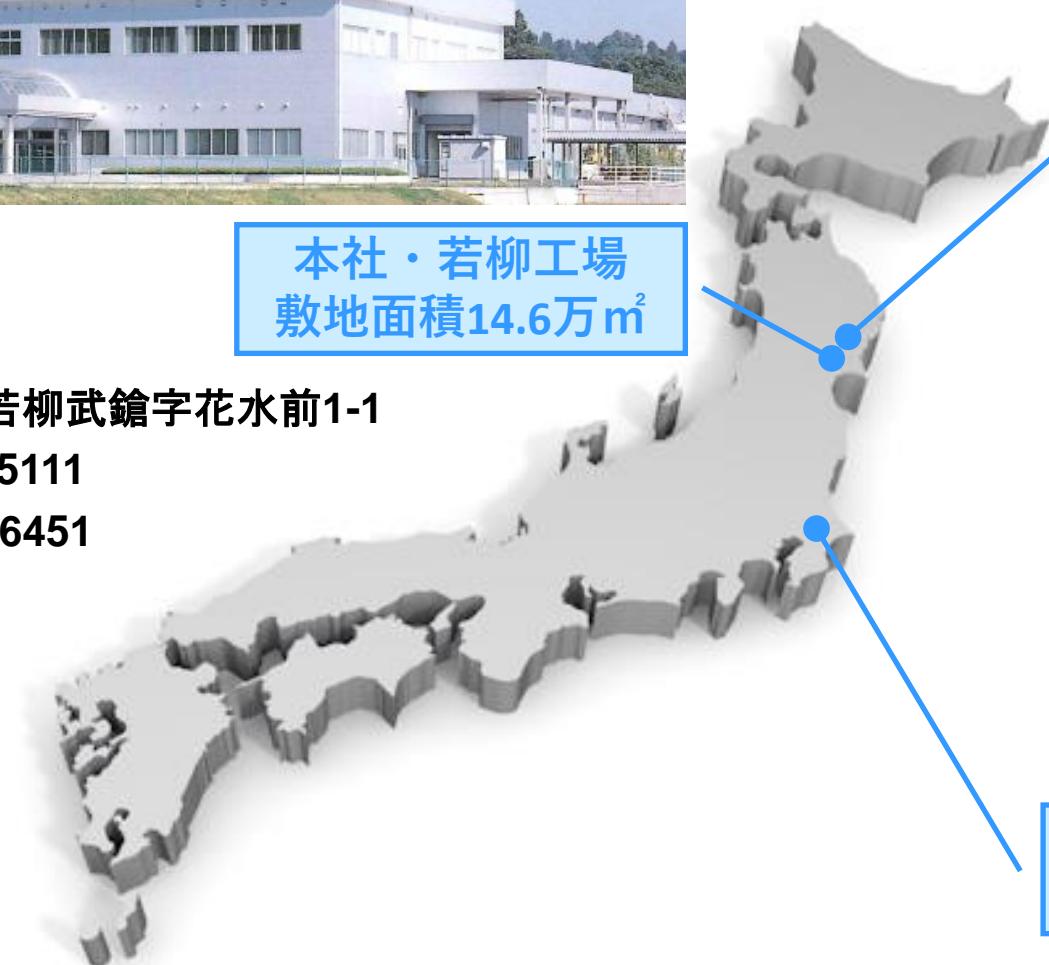
〒989-5508

宮城県栗原市若柳武鎗字花水前1-1

TEL 0228-32-5111

FAX 0228-32-6451

本社・若柳工場
敷地面積14.6万m²



花泉工場
敷地面積3.9万m²

〒029-3207

岩手県一関市花泉町油島字内別当19-1

TEL 0191-82-5110(代)

FAX 0191-82-5100



神栖工場
敷地面積2,600m²

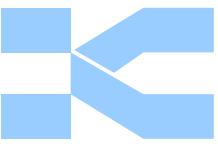
〒314-0112

茨城県神栖市知手中央十丁目6番8号

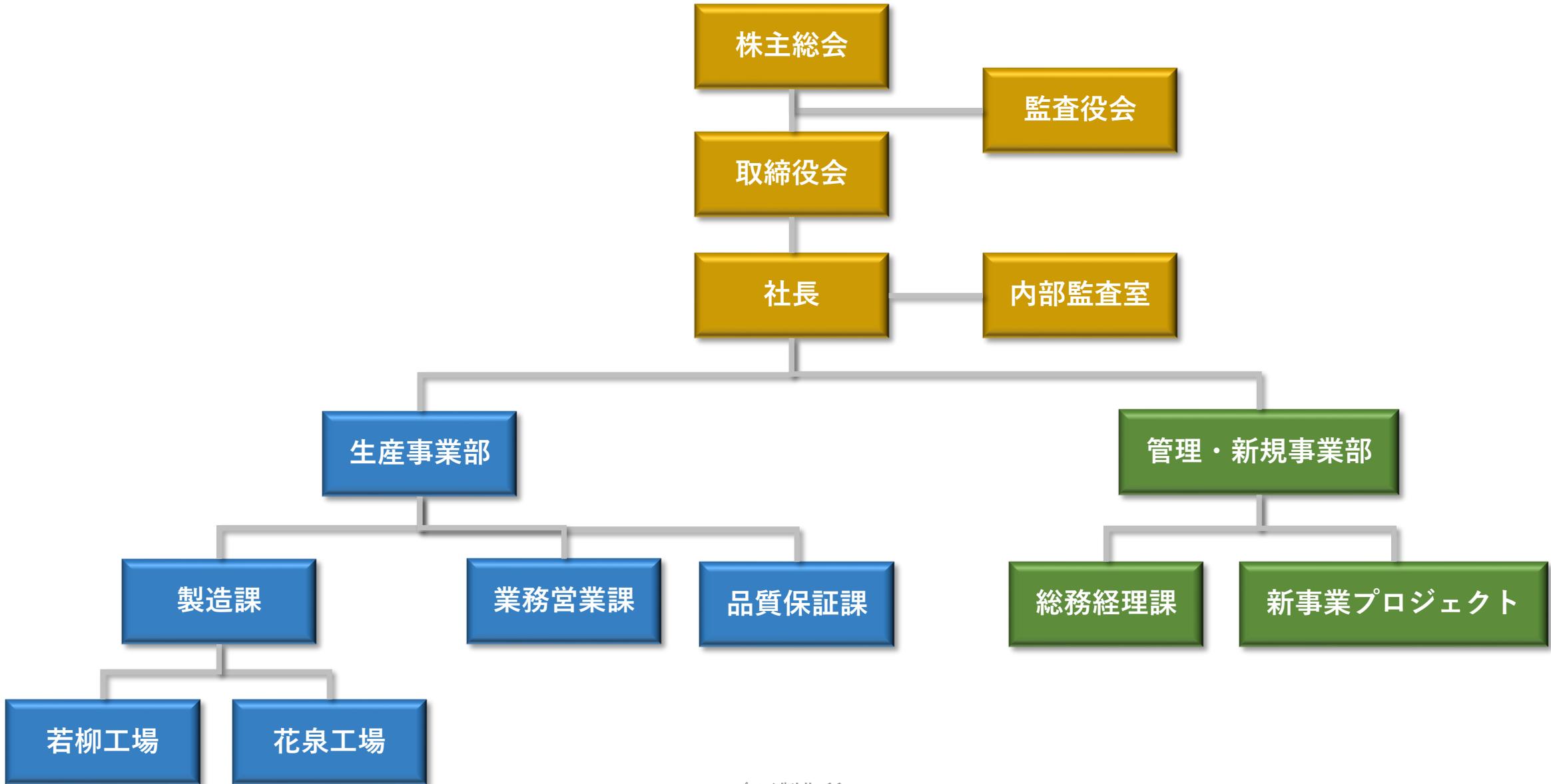
TEL 0299-97-1216(代)

FAX 0299-90-5666

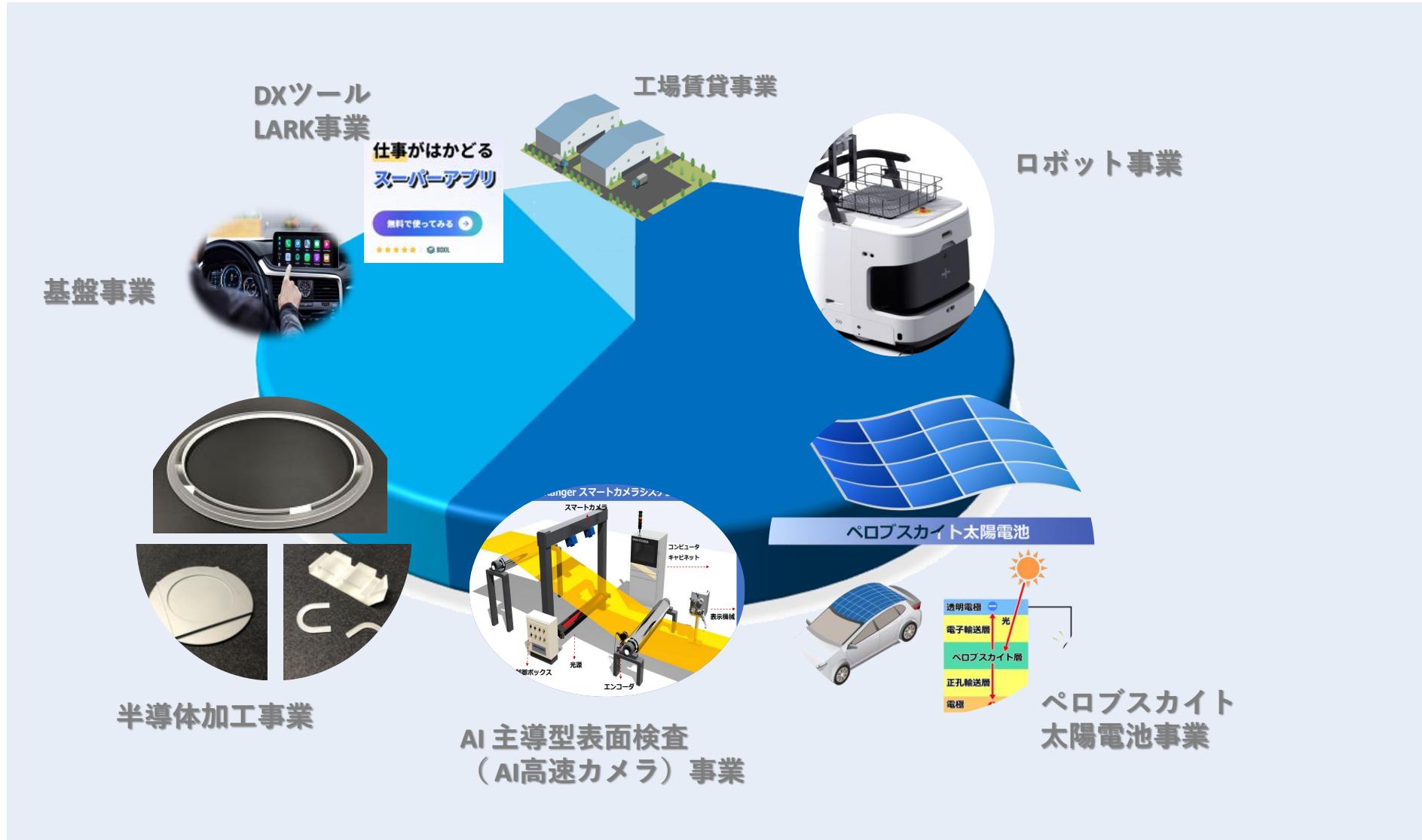




組織



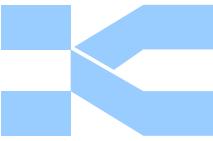
事業領域



ロボット事業



株式会社倉元製作所
KURAMOTO



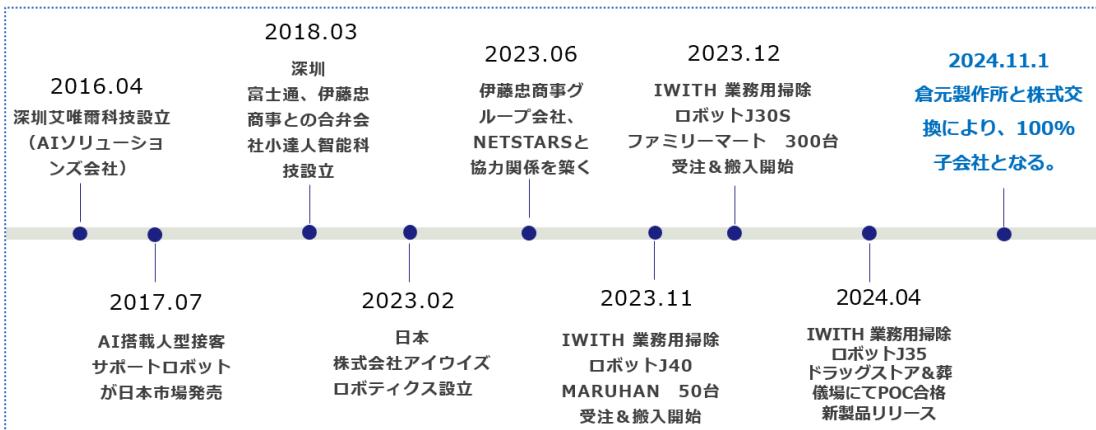
ロボット事業

株式交換によりアイウイズロボティクス社（IWR）を100%子会社化

2024年12月期（当期）より連結予定



沿革



製品



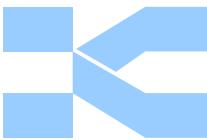
競争優位性

市場調査—競争品比較 Market Research						
ブランド	IWTH J30S	IWTH J35S	IWTH J40	S社	S社	A社
製品図						
掃きと吸塵	○	○	○	○	○	×
床磨き	×	○	○	×	○	○
モップ拭き	○	(水なしモップ拭きができる)	○	×	○	×
セルフクリーニング	○	○	○	×	×	×
全自動マップ作成	○	○	○	×	○	×
自動水交換	×	×	○	×	○	×
APPコントロール	○	○	○	×	○	○
商品陳列と広告機能	○	○	○	×	×	×
水タンク仕様	外し可能	外し可能	外し可能	水タンク無し	外さない、不便	外さない、不便

倉元製作所 5216

【株式交換の目的】

- IWRは、その前身となる会社である、AIによる各種ソリューション提供を目的とした深圳市艾唯尔科技有限公司を2016年4月に中国深圳市に設立
- 2018年3月、深圳市艾唯尔科技有限公司、伊藤忠商事株式会社及び富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社（現FCNT株式会社）との3社で中国でのAIソリューション事業を行う目的で、合弁会社小達人智能科技設立を設立
- 2023年2月に、業務用お掃除ロボットの日本での販売及び日本顧客向けの製品開発（カスタマイズ）等のマーケティング業務を行うことを目的にIWR社を設立
- 現在の日本の労働力不足・人件費高騰の経済環境を背景に、AIを活用した全自动の業務用お掃除ロボットを2023年6月より日本市場に投入し販売を開始
- これまでにコンビニ、ドラッグストア、オフィスに311台、清掃会社に32台、遊技場、ビルメンテナンス会社に53台の納入実績
- 2024年8月、大手ビルメンテナンス会社とのエレベータ連携の実証試験にも合格、お掃除ロボットが無人でエレベータを操作し各階を移動して清掃を完了させることで、ビル1棟まるごと全自动清掃が可能となる。
- 今後、こうしたエレベータ連携を含め、日本市場でのさらなる市場拡大が期待できることから、2024年11月1日、株式交換により当社の100%子会社化



ロボット事業 アイウイズロボティクス社

新製品 日本発トイレ掃除ロボットを2025年春に市場投入

トイレ掃除ロボットT1



掃除方法

① 便器とセットする

清掃員より本清掃ロボットを便器にセットし、一度便器の水をながす。

便器中の清掃
高圧ノズルから噴水

便座の清掃
ダブルローラーモップで
便座が拭かれる

② 清掃完了

清掃完了するとアナウンスで清掃員に通知される。
清掃員がロボットを便器から外すときに便器側面が拭かれる。

便器側面のモップかけ

ローラモップの
セルフクリーニング

国内最大級のビルメンテナンス専門展示会

「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2024」出展

2024年11月20日(水)から22日(金)の3日間、東京ビックサイト

倉元製作所 5216

11

高精度AI
センサー
搭載！

ペロブスカイト太陽電池事業



株式会社倉元製作所
KURAMOTO

ペロブスカイト太陽電池とは



【設置場所】

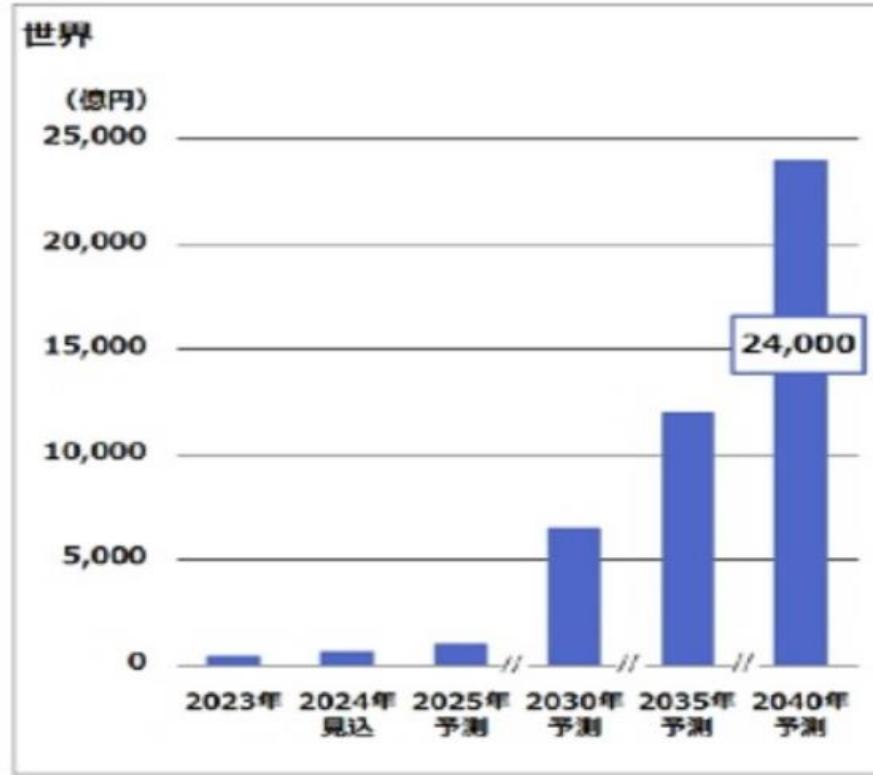
軽量、薄型、柔軟性、低製造コスト、主要材料の国内生産量豊富などの特徴により、これまで設置できなかつた場所での太陽光発電が可能。

<設置例>

- ・低耐荷重の工場、倉庫、事業所の屋根
- ・建物壁面（ビル、商業施設、公共施設、住宅）
- ・駐車場、EVステーション、自動車
- ・高速道路防音壁、街路灯
- ・自動販売機
- ・農業（ビニールハウス等）、アウトドア（テント）、防災施設など

市場規模 & 政府支援策の拡充

ペロブスカイト太陽電池の世界市場、2040年に2兆4000億円



ペロブスカイト太陽電池・世界市場と国内市場の推移
(出所：富士経済)

2023年に約630億円だったペロブスカイト太陽電池の世界市場は2040年には2.4兆円に膨らむ見通し。

量産技術の確立

- 【GI基金によるR&D・社会実装加速】**
- 「次世代型太陽電池の開発プロジェクト」(498億円)を通じて、**2030年の社会実装**を目指す。
 - 本年8月、WGを開催し、**支援の拡充 (498億円→648億円)**について合意。
 - 技術開発に加えて、**導入が期待される様々なシミュレーションにおけるフィールド実証**を行うべく、**今年度中に、③次世代型太陽電池実証事業を公募開始**予定。

生産体制整備

- 【サプライチェーン構築】**
- 2030年までの早期にGW級の量産体制構築**に取り組む。
 - 令和6年度予算案として、**GXサプライチェーン構築支援事業 (R6年度 548億円 (国庫債務負担行為含め総額4,212億円))**を計上。
 - Tier1に限らず、Tier2以下も含めたサプライチェーン全体に対する生産体制整備支援**を実施することで、高い産業競争力を有する形での国内製造サプライチェーンの確立を目指す。

需要の創出

- 【需要創出に向けて想定される取組】**
- 導入目標の策定**（特に公共施設は先行検討）
 - FIT・FIP制度における導入促進策や大量生産等による価格低減目標を前提とした需要支援策などの検討**
 - 太陽電池の**製造からリサイクル・廃棄までを見据えたビジネスモデルの普及・制度設計やルール作り**
 - 諸外国とも連携した耐久性などの評価手法等の**国際標準化**
 - アジア、欧米など、**有志国と連携した海外市場獲得**

出所：経済産業省HP

経済産業省GXサプライチェーン 2024年度補助金決定

予算額	421,200,000,000円 (令和10年度までの国庫債務負担含む)
補助率	原則 大企業 1/3以内 中小企業等 1/2以内
事業期間	令和6年9月17日～令和11年3月31日
補助対象要件	1) ペロブスカイト太陽電池 ・完成品（ペロブスカイト結晶構造の発電層を有するフィルム型の太陽電池） ・レーザー加工装置 2) 浮体式等洋上風力発電設備 ・ブレード※、タワー、ナセル、係留索・係留チェーン、アンカー、浮体基礎

予算総額
4,212億円

事業環境と経営ビジョン

【事業環境】

(社会面)

- 2050年カーボンニュートラルに向けて再生可能エネルギー（以下「再エネ」）供給を拡大させることは不可欠である一方、従来の再生可能エネルギーの主力である、シリコン型太陽光パネルの設置の問題点顕在化（設置場所の不足、環境破壊、系統連携問題など）
- 既に、日本の太陽光発電の国土面積あたりの日本太陽光導入容量は主要国の中で最大級（資源エネルギー庁）で飽和状態。
- ペロブスカイト太陽電池は、日本再エネ拡大の切り札（資源エネルギー庁）として位置づけ。

(経済面)

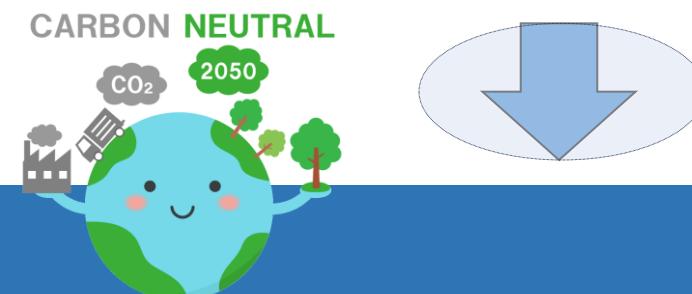
- 太陽光パネルはの生産は、中国が世界の8割を供給しており、エネルギー安全保障上きわめて高価値であるにもかかわらず、国内生産は減少の一途である。

(政策面)

- 2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画（経済産業省）では、2022年21.7%であった**再エネ比率を2030年に36～38%**（うち太陽光20～22%）を目指すとされ、量産技術確立、生産体制整備、需要の創出のための諸施策が実施されている。

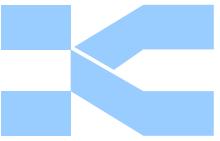
(技術面)

- 量産製造技術（フィルム基材、塗布材料開発等）については、日進月歩で技術革新がなされており、大型化、耐久性の問題もクリアしつつある。



【経営ビジョン】

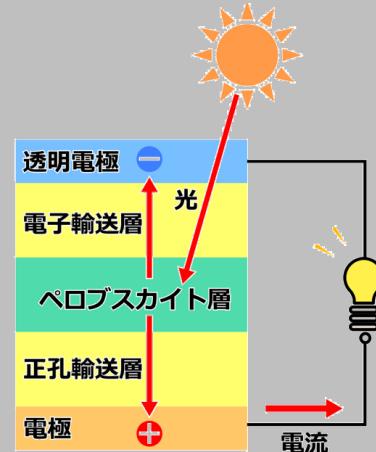
- ◆ カーボンニュートラル実現と社会のニーズに応えるために、ペロブスカイト太陽電池を迅速に日本に普及させること



【当社の保有技術】

1) 有機薄膜太陽電池技術

- ・金沢大学と共同で開発した逆型有機薄膜太陽電池
パネル製作技術（有機薄膜太陽電池の正孔輸送層技術等）
- ・産業技術総合研究所と共同で実施した逆型有機薄膜
太陽電池の耐久性・信頼性評価とその劣化メカニズムの解析



2) ITO成膜技術

- ・ETFE基板最適化技術、陰極成膜技術、背面電極金属膜成膜技術、nmレベルの膜厚技術
- ・低抵抗ITO成膜技術と高精度研磨技術を融合させた陽極ITO膜の平滑化と欠陥除去加工技術
- ・樹脂基盤ITO成膜供給実績（(株)東レ、帝人デュポンフィルム(株)、三菱エンジニアリングプラスチック(株)他）

金沢大学理工研究域
サステナブルエネルギー研究センター



逆型有機薄膜太陽電池の実証実験
栗駒高原駅バス停通路屋根
金沢大学(株)、倉元製作所、(株)イデアルスター

独立行政法人 産業技術総合研究所

倉元製作所のシーズ

- ・実証段階にある逆型太陽電池パネルの製造



有機薄膜太陽電池試作サンプル（左：パネル型、右：ブライド型）

試作パネル開発 ↓ ↑ 信頼性評価試験の実施
技術指導

産総研支援方法

- ・同社の有機薄膜太陽電池サンプルの屋内加速試験および屋外曝露試験を実施
- ・試験データによる研究者間での劣化メカニズムの解明に向けた検討

① 対象市場詳細

<B to C>

- ・個人住宅
- ・マンションベランダ
- ・アウトドア・キャンプ
- ・携帯用充電器（小型IoTデバイス向け）

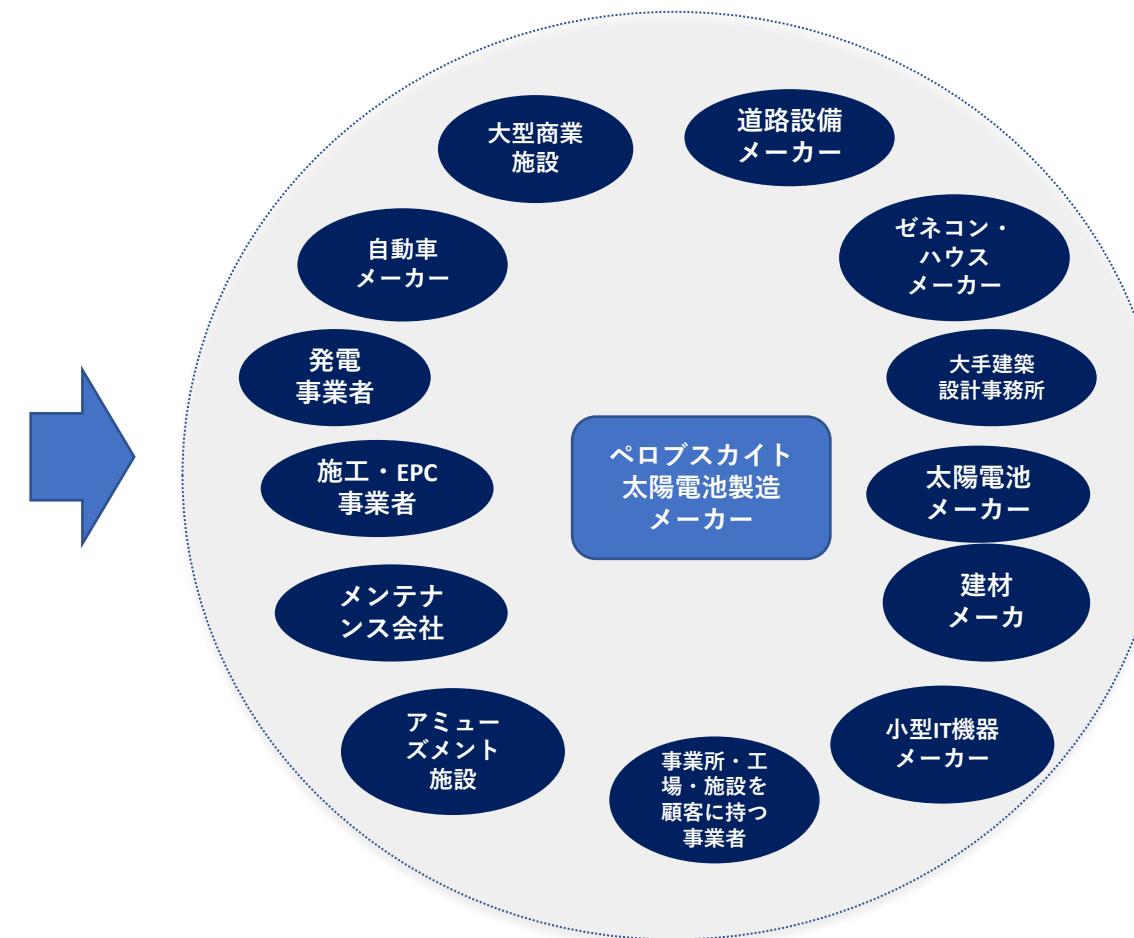
<B to B>

- ・公共事業 国、地方自治体等
- ・自動車関係 駐車場、急速充電器等。
- ・高速道路防音壁
- ・街路灯（独立電源用用途）
- ・既存結晶系パネル設置不可（低耐荷重）箇所
（工場屋根、倉庫等）
- ・自動販売機
- ・農業（ビニールハウス等）
- ・災害時の非常用電源
- ・小規模店舗（コンビニ等）
- ・耐荷重の小さい工場屋根
- ・建物壁面
- ・EVステーション連携、自動車搭載



② 対象製品

- ・フィルム型
- ・都市型再エネ・蓄電システム

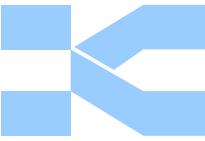


ペロブスカイト太陽電池の
各業界大手企業との提携

AI 主導型表面検査 (AI高速カメラ) 事業



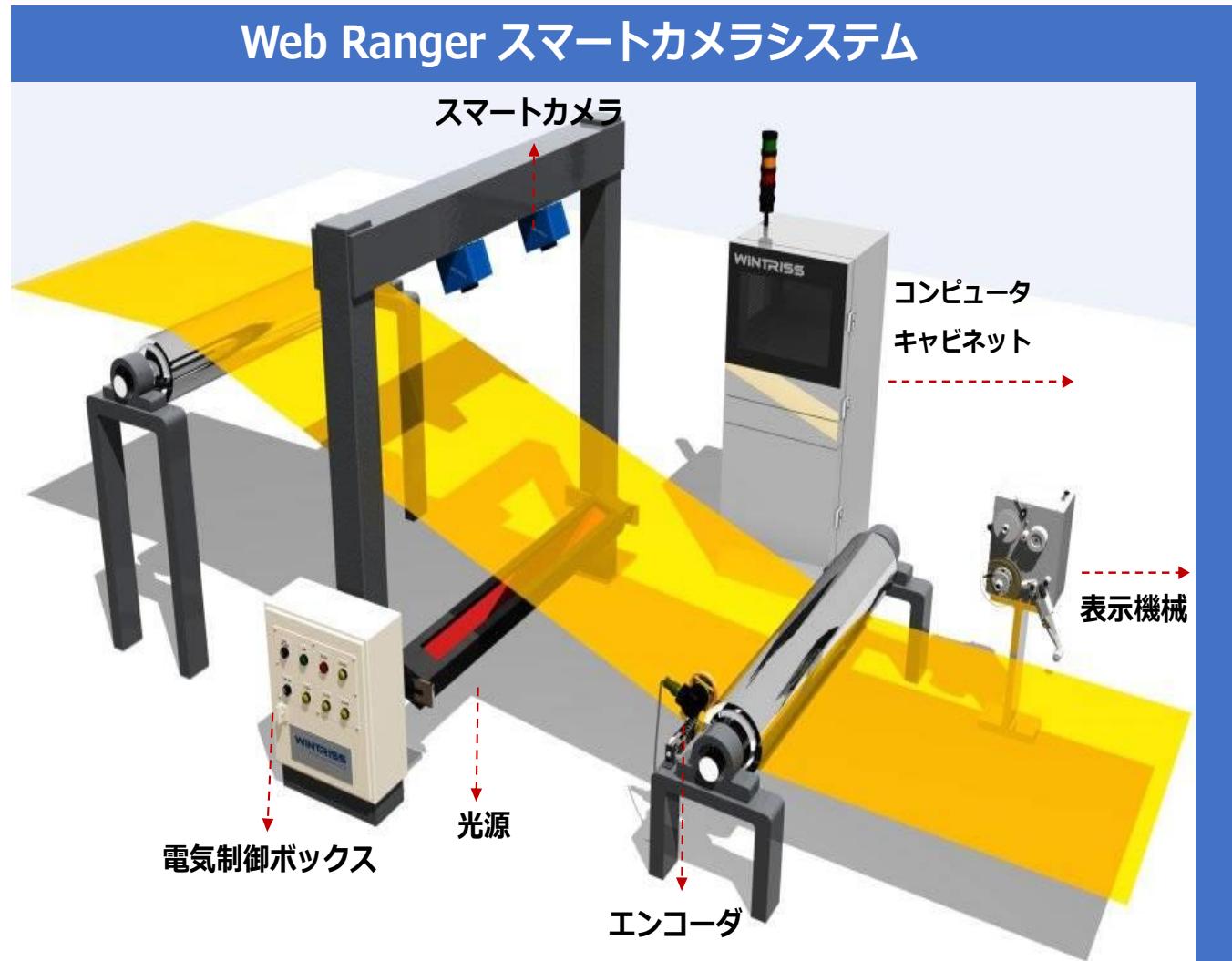
株式会社倉元製作所
KURAMOTO



WECO 社と基本合意書

【基本合意の内容】

- AI 主導型表面検査の世界のリーディングカンパニーである Wintriss Engineering Corporation (米国 WECO 社) の日本進出にあたり、当社と WECO 社が基本合意書 (MOU) 締結し、
- 当社がマーケティング及び販売のためのパイロットプロジェクトを推進する協業パートナーとなり、当社が「WECO 製品」のシステムインテグレーター (SI) および独占販売代理に向けて、WECO 社とともにプロジェクトを推進することで合意。



スマートカメラシステム

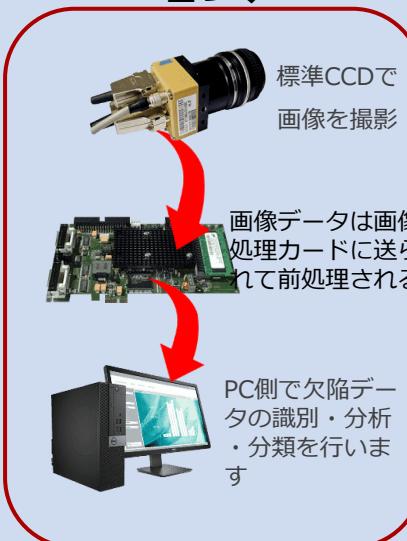
それは単なる違いではなく、世代差です！

**第1世代
PCベースのシステム**



安いで複雑な構成で
遅い、低い精度、低い精度

**第2世代
処理カードシステムに基づく**



より速く、より簡単に設定できます
中程度の精度、一般的な精度

**第3世代
(Webレンジャー)**



特許の出た商品

速度(640m/s~1.2 g /s+)、高精度(30u~10u)、
高精度(99.9%+~99.99%)
物体検出超高速(2000m/m+)

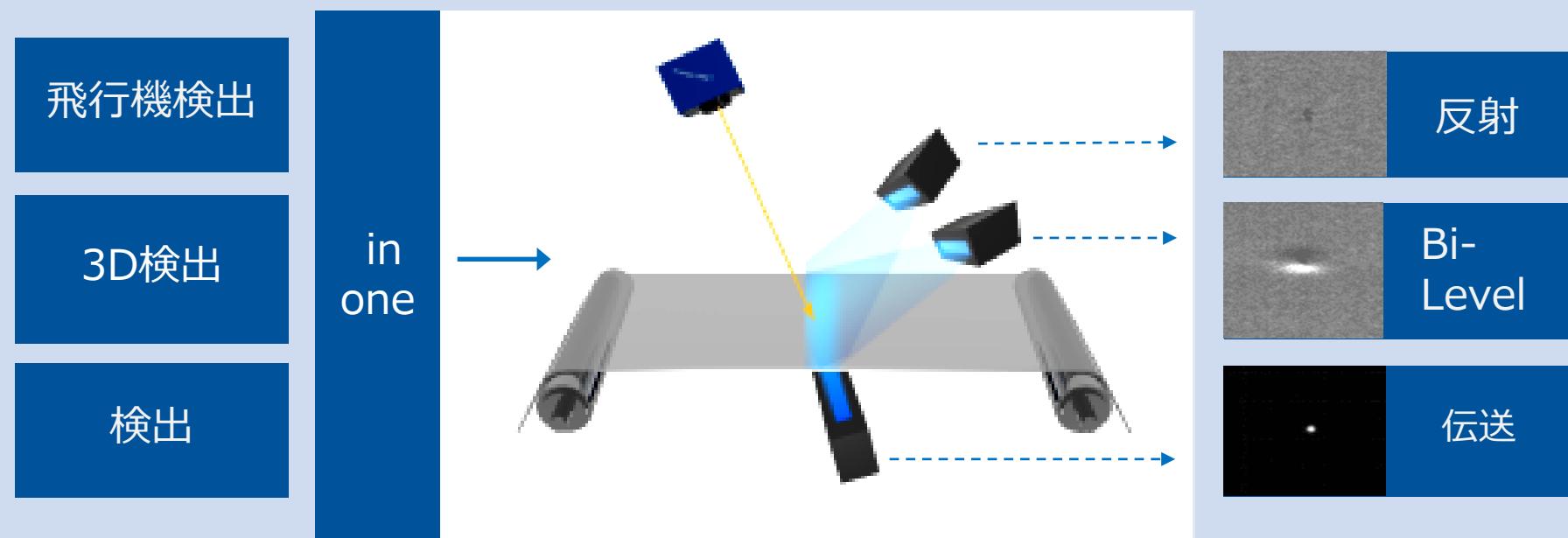
**第4世代
スマートカメラシステム**



- 特許
- AIOスマートカメラ
- 高速チップ
- 超高速リアルタイム画像処理
- AIアルゴリズムエンジン
- すべてのタスクは、カメラ
のエッジコンピューティング
によって行われます

X-view技術と一体化した検査システムは、ワンステーションカメラを搭載し、マルチステーション検査を実現し、設置が容易です。

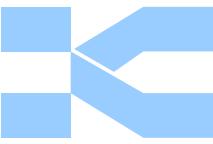
1台のシステムで複数の角度からより多くの欠陥を検出し、複数の角度から1つの欠陥を特定し、欠陥の分類をより正確にすることができます。



DXツール LARK事業



株式会社倉元製作所
KURAMOTO



Larkの特徴



レカム社との業務提携 2024年10月1日締結

- ①レカム社との販売代理店契約の締結
- ②「Lark」ユーザー企業へのレカム社のソリューションサービスの紹介
- ③両社のノウハウを活かした新たなサービス開発の検討

名称	レカム株式会社(RECOMM CO.,LTD.) 東京証券取引所 スタンダード 3323
所在地	東京都渋谷区代々木三丁目25番3号 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル12階
代表者	代表取締役社長 伊藤 秀博
事業内容 (グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルソリューション ・コストダウンソリューション ・DX化推進ソリューション ・サイバーセキュリティソリューション ・感染症対策ソリューション
資本金	2,447百万円
倉元製作所 URL	5216 https://www.recomm.co.jp/

半導体加工事業 石英加工



株式会社倉元製作所
KURAMOTO

UNOクオーツを吸收分割によりグループ化 神栖工場開設

神栖工場 2024年10月29日より操業開始

有限会社UNOクオーツの全事業を吸收分割により承継



【事業承継の目的】

- UNOクオーツ社は、半導体製造装置向けの石英パーツ部品の火加工事業を**20年の実績**
- 当社の新規参入した半導体製造装置向けの**石英パーツ部品の火加工の市場が拡大傾向**にあることからUNOクオーツから火加工事業を吸收分割により承継し、当社の事業として開始
- 石英火加工事業は、**半導体製造業界**や光学機器製造業界、医療機器製造業界などで利用される部品や素材に活用される
- UNOクオーツの強みは、既に火加工に必要な設備（電気炉、大型旋盤、大型研削機、ガス貯蔵施設等）を保有しており、**長年にわたり蓄積された火加工技術**により、高い品質の半導体製造装置向けの石英パーツ部品を供給可能
- UNOクオーツの火加工設備及び火加工技術を当社に取り入れることにより、当社内における一貫した**自社生産体制**の実現により、石英の火加工部分を内製化し、**大手半導体製造装置メーカーの指定ベンダー**を目指す。

石英の特長と用途

光学特性

高透過

低屈折

物理特性

低密度

高耐熱

低膨張

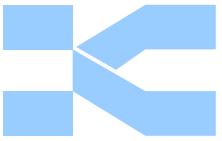
化学特性

高純度

高耐薬品性

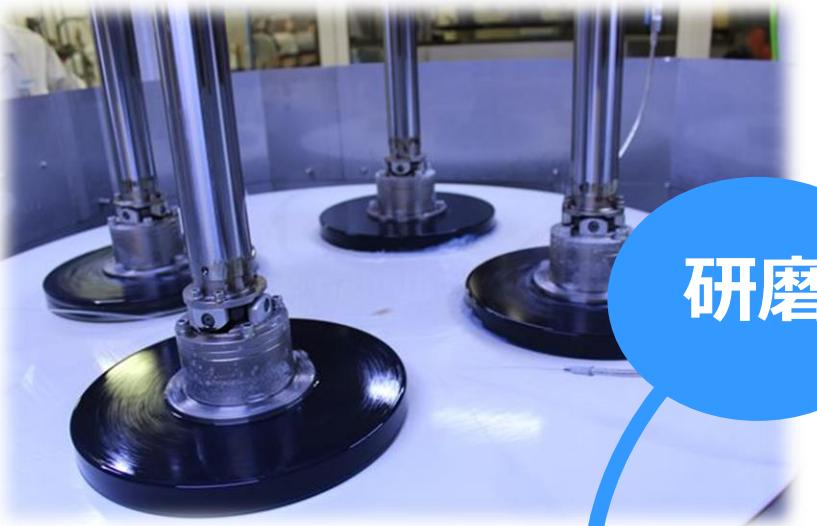


石英の優れた特性から、光ファイバーや光学フィルター、実験用理化学機器、光学レンズ、半導体製造装置など、あらゆる分野で使用されています。



半導体加工事業 石英火加工

石英加工プロセス



研磨

研削

溶接

サンド
ブラスト

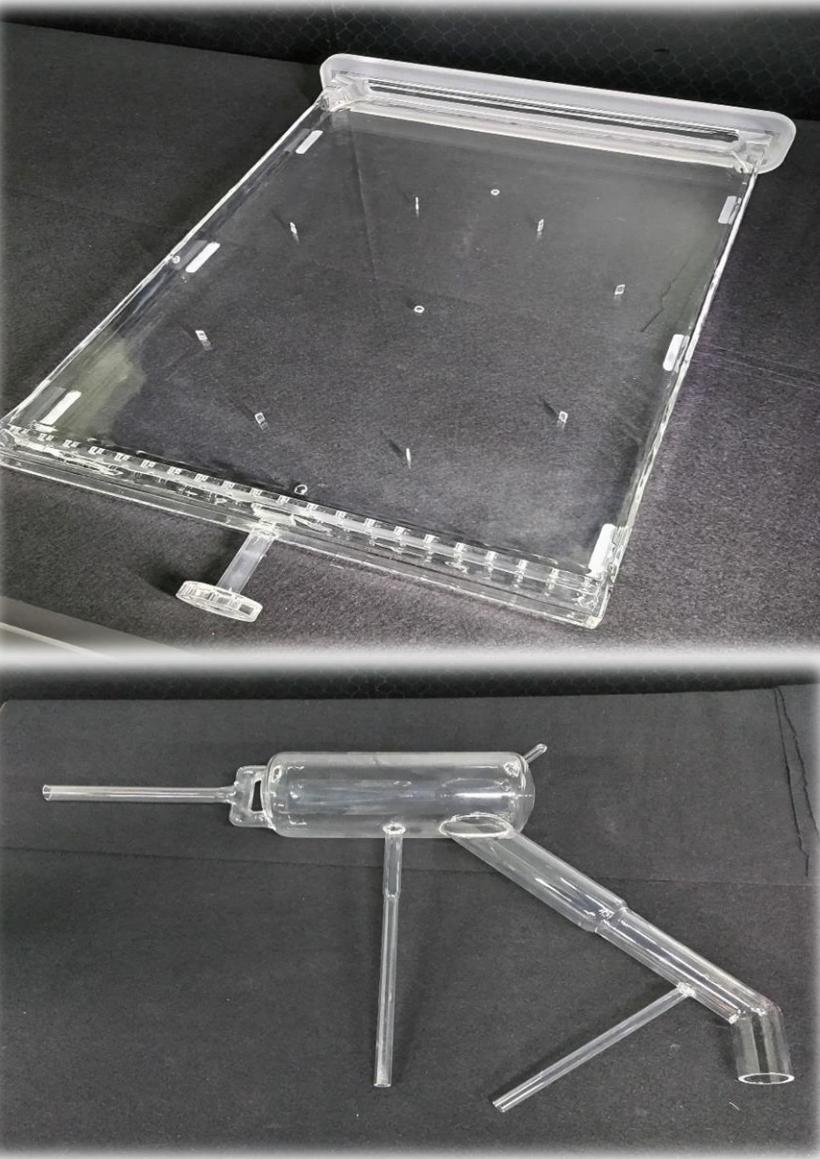
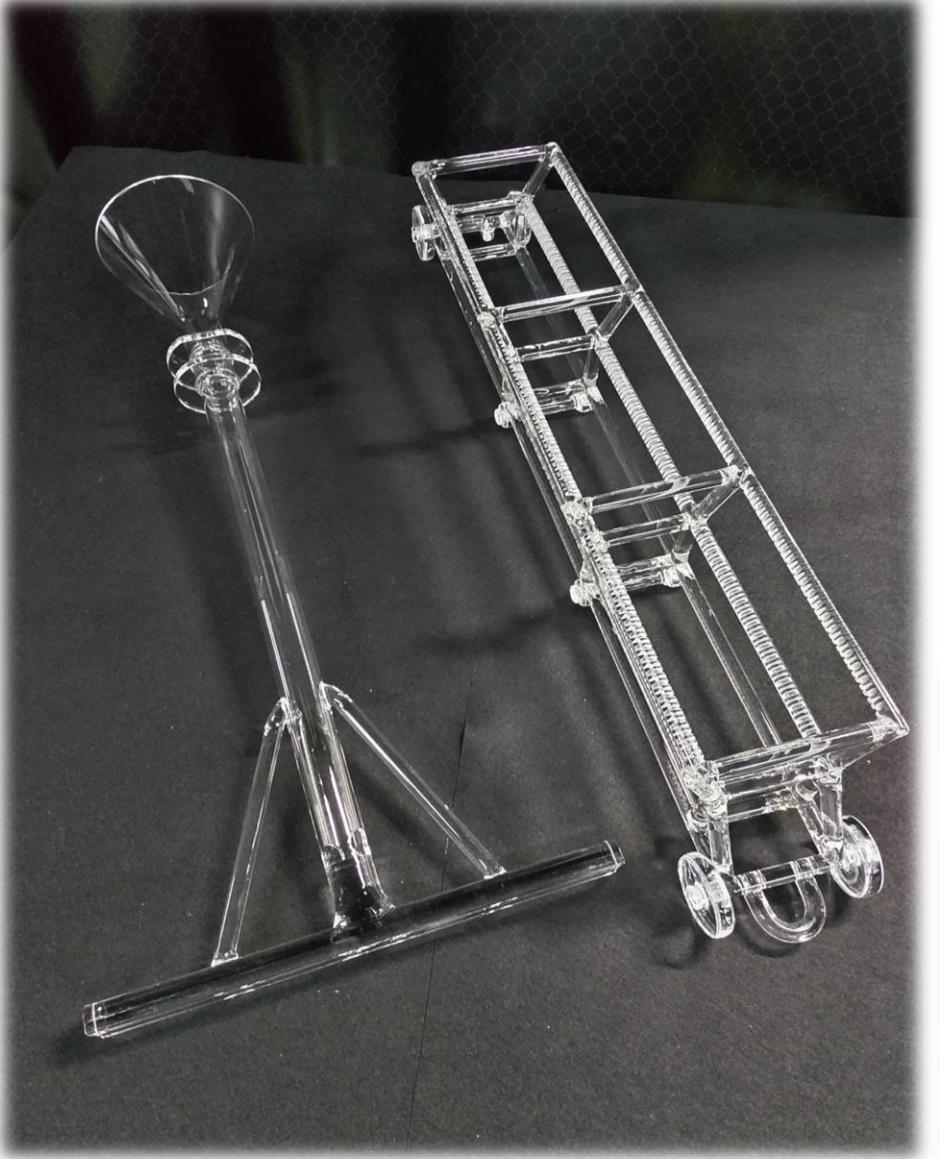
測定

洗浄

検査



石英加工品実績例



研削・研磨・サンドブラスト

設備名称	台数	仕様（ワークサイズなど）
マシニングセンター	3	ストローク：700mm(X)×400mm(Y)×400mm(Z) 主軸最高回転速度：12,000min-1
立型ロータリー研削盤	1	ワーク最大径： Φ 700mm ワーク最大厚み：370mm
汎用旋盤	3	ワーク最大径： Φ 400mm
片面研磨機 TypeVI	10	～550mm×670mm
片面研磨機 TypeVII	27	～730mm×920mm
片面4軸研磨機	2	～ Φ 450mm
両面研磨機 16B（ラップ）	1	～ Φ 300mm
両面研磨機 16B（ポリッシュ）	1	～ Φ 300mm
両面研磨機 22B（ラップ）	1	～ Φ 450mm
サンドブラスター	1	～800mm×1,000mm×1,000mm



マシニングセンター

立型ロータリー
研削盤

汎用旋盤

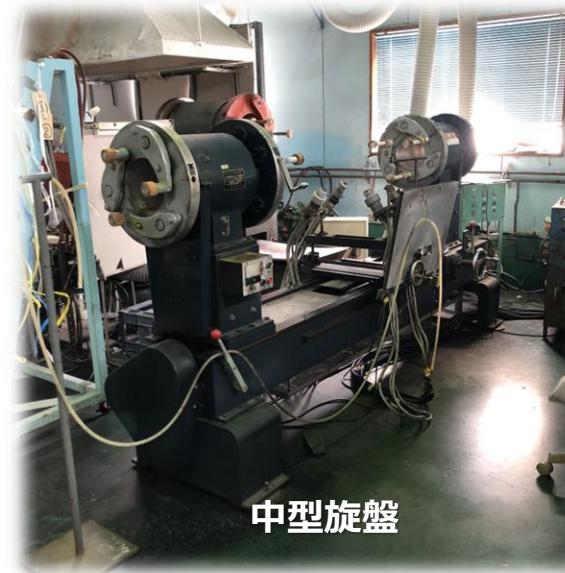


片面4軸研磨機

両面研磨機16B
(ラップ)両面研磨機16B
(ポリッシュ)

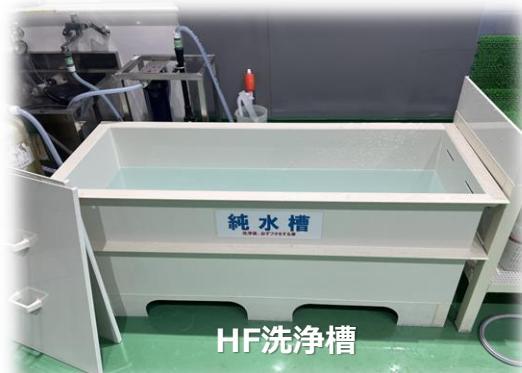
溶接・組立て

設備名称	台数	仕様（ワークサイズなど）
石英バーナー	10	各種口径
大型旋盤	1	ワークサイズ：～Φ350mm×2,500mm 金属バーナー：Φ40mm×8台
中型旋盤	1	ワークサイズ：～Φ200mm×1,500mm 金属バーナー：Φ40×2本、25×2本
電気炉	3	ワークサイズ：～600mm×600mm×2,000mm



洗浄・測定・検査

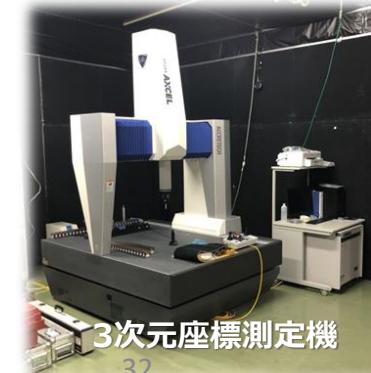
設備名称	台数	仕様（ワークサイズなど）
HF洗浄槽	1	洗浄槽内寸：500mm(D)×1600mm(W)×550mm(H)
超音波洗浄機	1	ワーク最大径： Φ 400mm 第1層：超純水/超音波 第2層：超純水/超音波 第3層：熱風ブロー
3次元座標測定機	1	測定範囲：850mm(X)×1000mm(Y)×600MM(Z)
表面粗さ測定機	1	Z方向測定範囲：-210～+160 μ m X方向駆動範囲：～16mm
クリーンルーム検査室	1	クリーンルーム：クラス10,000 検査ブース：クラス1,000



HF洗浄槽



超音波洗浄機



3次元座標測定機



表面粗さ測定機

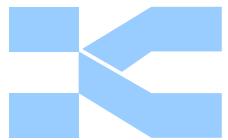


クリーンルーム検査室

半導体加工事業 SiC加工



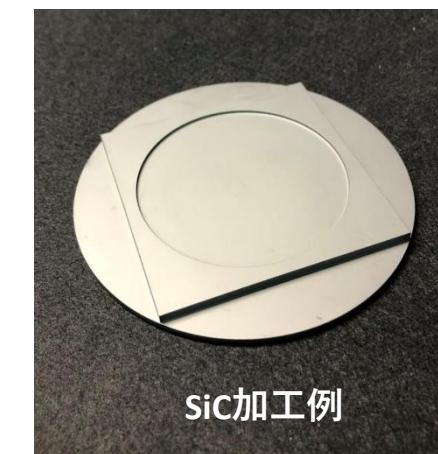
株式会社倉元製作所
KURAMOTO



製品紹介

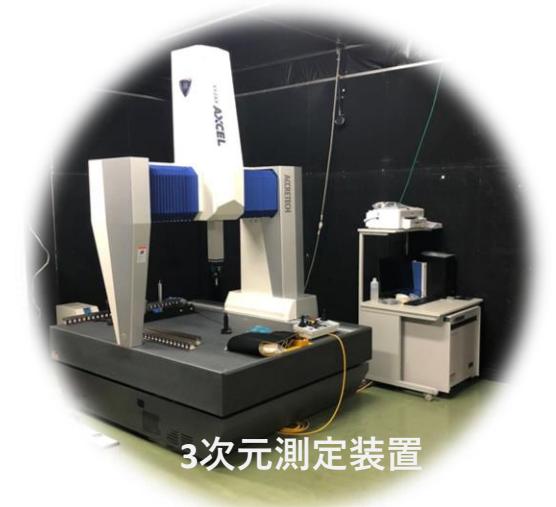
半導体製造装置用パーツ

- ・シャワープレート、リング類
- ・Si、SiC、石英など



加工設備

No	内容および仕様等詳細(例)
1	超音波加工機(VTC-40B)
2	内外径加工機(VTC-40B)／2・3号機
3	SICワーク 内・外径加工機／補機
4	SICワーク超音波穴明け機／補機
5	ワーク修正装置
6	超精密立型ロータリー研削盤SGR-700R／SIC材対応仕様
7	SIC仕様4軸片面ポリッシュ盤製作／(改良型)
8	SICワーク 超音波洗浄装置
9	(株)東京精密 XYZAX AXCEL 9/10/6 PH C6-D PH10T/TP200を含む一式



基盤事業



株式会社倉元製作所
KURAMOTO

KURAMOTOは、ガラス基板等の切断・面取り加工から表面研磨加工まで、多様な超精密表面加工を量産できる国内唯一のメーカーです。

切断

研磨

対応サイズ

最大1100mm × 1300mm

生産能力

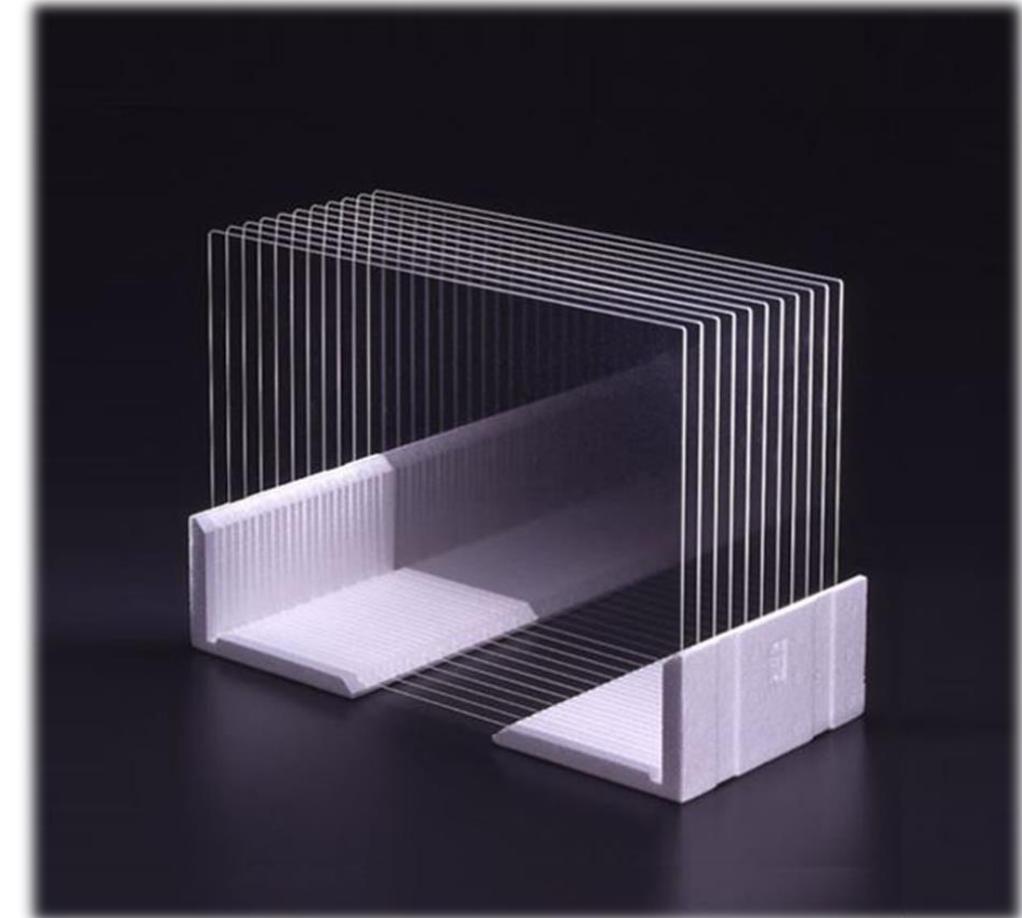
月産300K枚以上

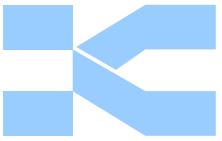
月産150K枚以上

超精密加工技術

寸法公差 $\pm 0.05\text{mm}$
鏡面加工平面度 $\leq 1\mu\text{m}$
表面粗さ $\leq 1\text{nm}$

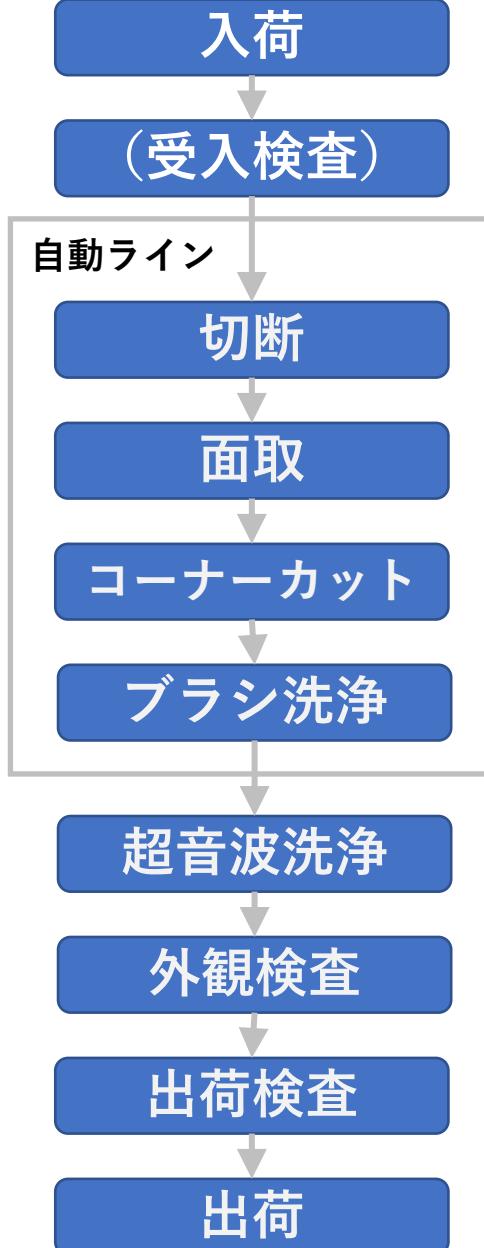
基材

ガラス各種、TFT基板、CF基板、
液晶パネル、薄膜付基板、などガラス各種、液晶パネル、Siウェーハ、
サファイア、薄膜付基板、など

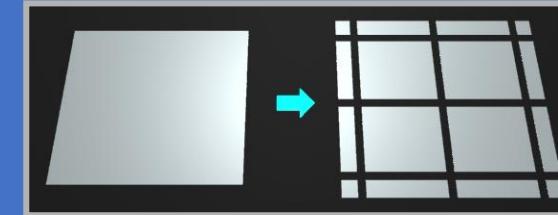


基盤事業

ガラス基板切断



ガラス基板を高い精度で切断します



<切断・面取ライン>

- ワークサイズ : 300×400mm～1100×1300mm
- ライン数 : 3ライン以上



<14層式超音波洗浄機>

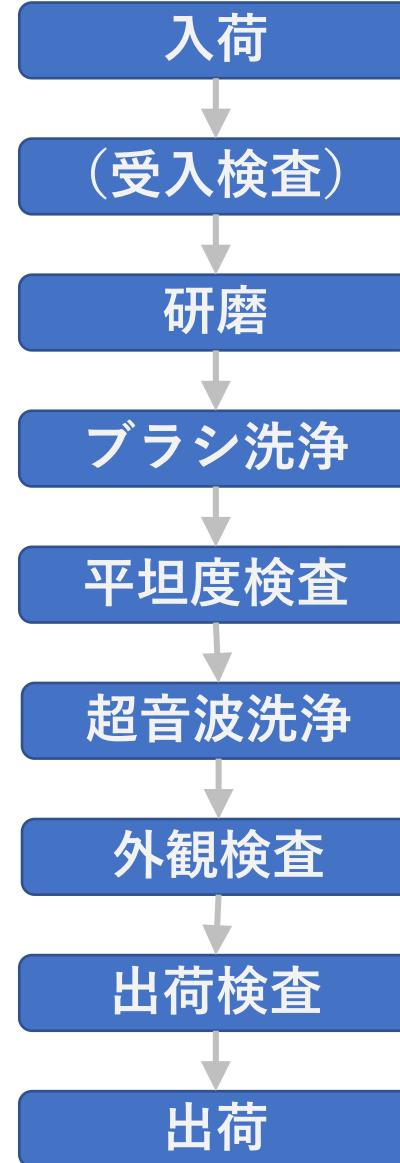
- ワークサイズ : ~1100×1300mm
- ライン数 : 3ライン

倉元製作所 5216

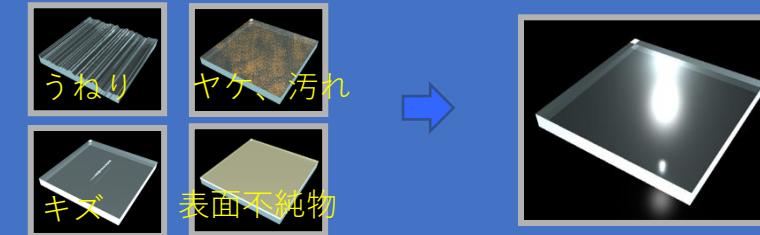


<外観検査>

- クリーンルーム面積 : 1,000 m²
- クリーンルーム : クラス10,000
- クリーンベンチ : クラス100



目的に応じた最適な表面状態に仕上ます



<研磨機>
 ・ワークサイズ : ~1100×1300mm
 ・研磨機台数 : 40台以上

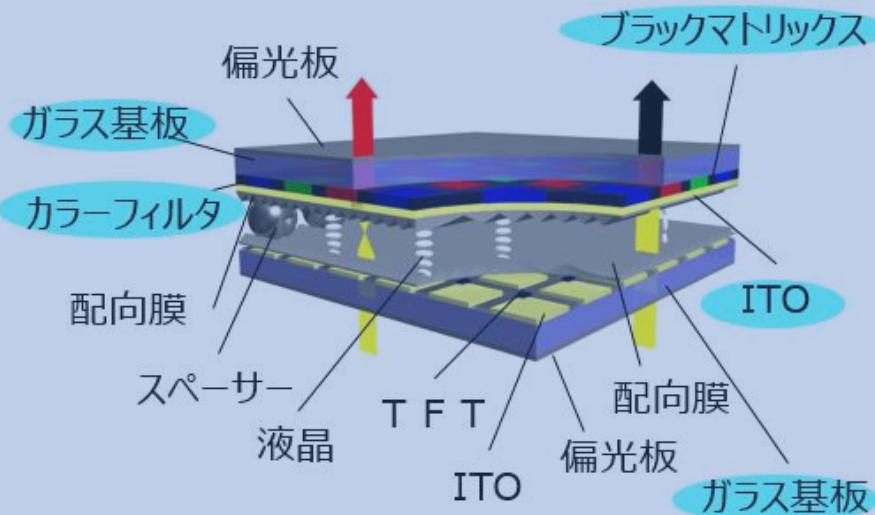


<14層式超音波洗浄機>
 ・ワークサイズ : ~1100×1300mm
 ・ライン数 : 2ライン
 倉元製作所 5216

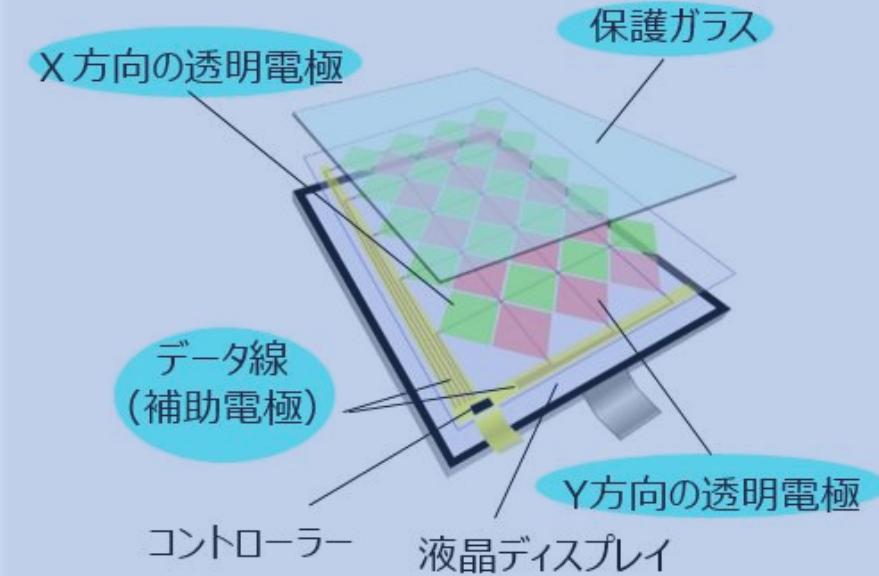


<外観検査>
 ・クリーンルーム面積 : 1,000m²
 ・クリーンルーム : クラス10,000
 ・クリーンベンチ : クラス100

<液晶ディスプレイ>



<静電容量式タッチパネル>



CREATING THE FUTURE

ビジネスを
通じて

半歩先行く技術と商品力で未来を創る

ビジョン
目指すところ

世界の最先端技術を取り入れ

日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モノ・カネの
良い循環を生み出し、未来に向けて進化する

組織の理念は

全社員が
情熱を持って

全社一丸となる組
織の仕組を持つ

モノづくりの
プロ集団

KURAMOTO